

# 子どもの学び 研究開発指定校 研究報告

新富町立 富田小学校

令和6年 2月13日 (火)

ひなたの学びフェス 宮崎大学



# 新富町立富田小学校

児童数 598名  
職員数 53名

# 子どもの学び研究開発指定校

## 目的

- ① 学校の課題解決
- ② 学力向上
- ③ 働き方改革

# 研究主題

**児童も教師も楽しく学び、共に成長できる学校づくり**  
～児童の学力向上と教職員の働き方改革の取組を通して～

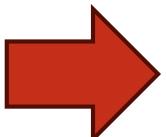
# 研究仮説

児童に必要な力を高める授業改善の視点を基本とした授業を展開する中で、

- 個別最適な学びと協働的な学びの充実につなぐ  
ICT活用能力の育成
- 特別支援教育の手立ての工夫
- 教材の共有による教師の作業効率の向上 を行えば、  
学力が向上し、児童も教師も楽しく学び、共に成長できる  
学校づくりができるであろう。

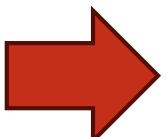
# 本校の児童に 今 必要な力

聞く力



- 見通しをもって
- 自分の考えと比較して

表現力



- 自分の言葉で
- 理由・根拠を明らかにして

# 目指す児童の姿

	低学年	中学年	高学年
聞く力	<ul style="list-style-type: none"><li>相手を見て最後まで聞くことができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>相手の伝えたいことを理解し、自分の考えと比較しながら聞くことができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>自分の考えと比較しながら相手の話を聞き、考えや活動の見通しをもって聞くことができる。</li></ul>
表現力	<ul style="list-style-type: none"><li>相手に自分の考えを伝えることができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>自分の考えの結論を述べた後、<b>理由</b>を述べてわかりやすく伝えることができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>自分の考えの結論を述べた後、その<b>根拠</b>となる資料を提示しながら説明することができる。</li></ul>

# 成果指標【低学年児童用】

## 観点

【3】 聞く力

【4】 表現力

【6】 個別最適な学び  
協働的な学び

一部抜粋

### 【具体的な内容】

算数の授業中、先生や友だちの話を聞いていますか。

### 【具体的な内容】

算数の授業中、自分の考えを言った後、理由を説明することができていますか。

### 【具体的な内容】

算数の授業中、先生や友だちに自分の考えを言ったり、先生や友だちの話を聞いたりすることができますか。

# 成果指標 【教師用】 一部抜粋

## 観点 (働き方改革に関する内容)

【1】 意識【働きがい・負担感の軽減】

【2】 勤務時間【効率化・確保】

【3】 業務改善

【4】 ワークライフバランス

## 観点 (授業改善に関する内容)

【5】 授業改善

【6】 ICT活用スキルアップ

【7】 特別支援教育の充実

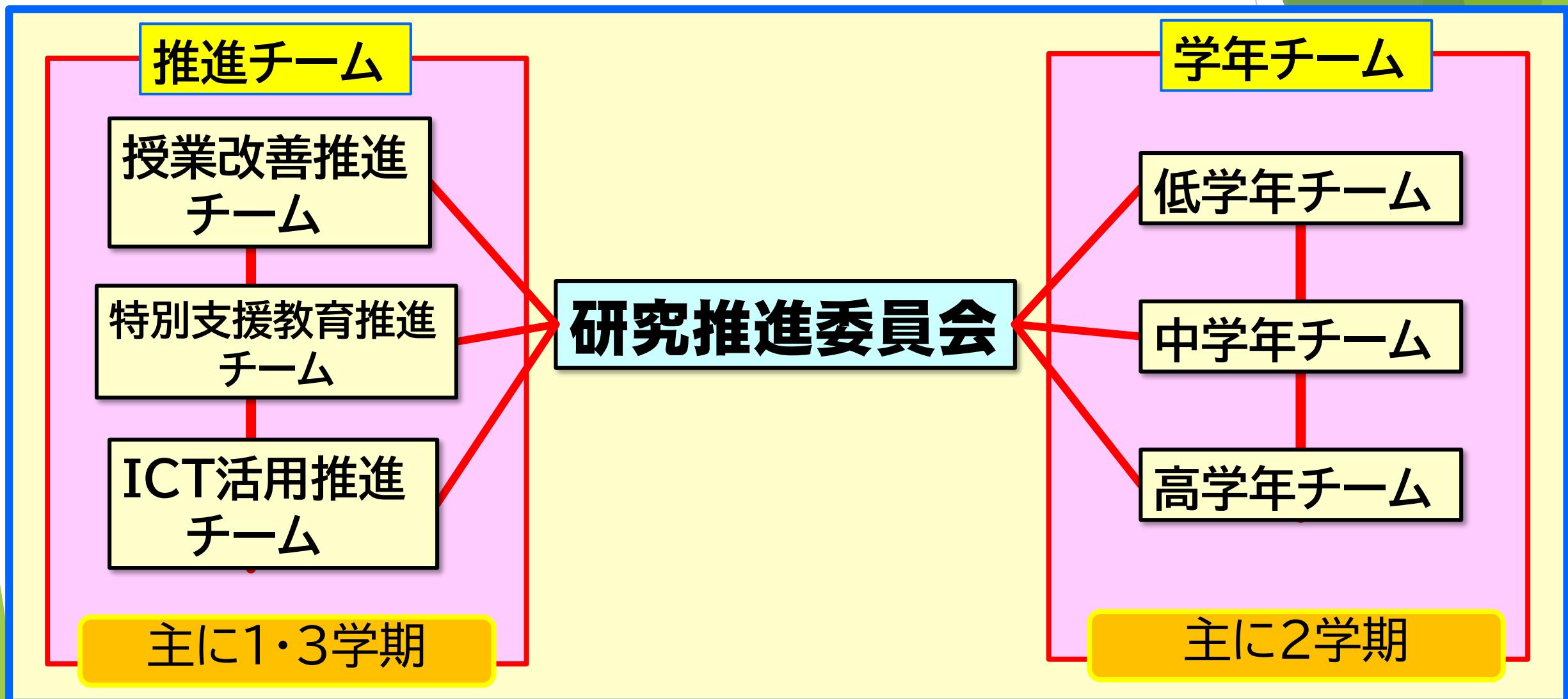
### 【具体的な内容】

- ①教材研究・学級事務の時間
- ②児童に対する個別指導・教育相談の時間

### 【具体的な内容】

- ①個別最適な学びと協働的な学び
- ②ICT活用
- ③特別支援の手立て

# 研究組織



# 推進チームの取組

- ① 授業改善推進チーム
- ② ICT活用推進チーム
- ③ 特別支援教育推進チーム

# 推進チームの取組

- ① 授業改善推進チーム
- ② ICT活用推進チーム
- ③ 特別支援教育推進チーム

# 授業改善の視点から富田スタイル学習指導の確立へ

## 1 県・事務所・町が示す授業改善の視点

	県	中部教育事務所	新富町
めあてとまとめの整合	●		●
指導内容の精選	●		
実態との整合	●		
的確な指示・発問	●		
資質・能力の明確化		●	
個別最適な学びと 協働的な学びの一体化		●	●
ICTの活用			●
習熟の時間の工夫		●	●
タイムマネジメント			●
問い合わせをもつ	●		
学び合い考えを広げる	●		
深く考える力	●		

ひなたの学び

# 授業改善の視点から富田スタイルの確立へ

## 2 全ての視点を包括した富田スタイルの確立

富田スタイル	
見通す	問い合わせをもつ めあてとまとめの整合
調べる	個別最適な学び 協働的な学び
まとめる	学び合い考え方を広げる めあてとまとめの整合
ふり返る	習熟の時間の工夫 個別最適な学び 協働的な学び

ICTの効果的活用  
タイムマネジメント  
的確な指示・発問  
深く考える力  
特別支援教育

# 富田小 学習指導案『授業構想シート』

## 3 個別最適な学び と協働的な学びに 関わる児童の実態

国5学年3組 数学 授業構想シート

1 単元名 単位量あたりの大きさ

2 本時の目標 混みくらいなどの複数の2量が関係する事柄の複数の比比べを考え、単位量あたりの大きさを使って表したり、複数の大小を判断したりすることができます。（参考・歩道・判断）

3 個別最適な学びと協働的な学びに関わる児童の実態

- 想像を問題にして考え、見通しをもって予想立てることができる。
- ICT機器を使って自分の考え方や意見をカードに書くことができる。
- 自分の考え方や意見を書くことのできる児童は多いが、理由や根拠を明らかにして書くことのできる児童は少ない。
- 自分の考え方や意見を相手に伝えることはできるが、相手の意見を聞く際に自分の考え方と比較しながら聞くことが難しい児童が多い。
- ★ 自分の考え方の根拠となる資料を提示しながら説明することが苦手な児童が多い。

4 学習目標・評価計画

学習目標	時数	評価の観点		
		意・想	知・性	思・利
○ 混み具合の比べ方を考え、単位量あたりの大きさで混み具合を比べることができます。	1/2 (待避)		○	
○ 数量の関係をもとに単位とする方の量を決め、単位量あたりの大きさを覚えて比べることができます。	1		○	
○ 単位量あたりの大きさのよさに気づき、人口密度や燃費などよく用いられる単位量あたりの大きさについて知る。	1			○
○ 数値を簡単な場合に書きかえるなどして2量の関係を身近でわかりやすく考えることができます。	1	○		
○ 単元テスト	1			○

# 富田小 学習指導案『授業構想シート』

個別最適な学びと協働的な学びに関する児童の実態について

## 3 個別最適な学びと協働的な学びに関する児童の実態

- 根拠を明確にして考え、見通しをもって予想を立てることができる。
- ICT機器を使って自分の考えや意見をカードに書くことができる。
- 自分の考えや意見を書くことのできる児童は多いが、理由や根拠を明らかにして書くことのできる児童は少ない。
- 自分の考えや意見を相手に伝えることはできるが、相手聞く際に自分の考えと比較しながら聞くことが難しい児童がいる。
- ★ 自分の考えの根拠となる資料を提示しながら説明することが苦手な児童が多い。

○：よいと認められる児童の実態

●：課題と感じられる児童の実態

★：表現力に関する児童の課題

# 算数科の研究授業で検証したこと

- ▶個別最適な学びと協働的な学びの  
一体化はどうあればよいか。
- ▶学んだことを自分の言葉でアウト  
プットできる力の育成はどうあれば  
よいか。

# 個別最適な学び1

## 調べる段階において

# （1）自分の考えをもつための手立て

## (2) 自力解決するための手立て

## ①ICT機器の活用

## ②特別支援教育からのアプローチ

5 他課題(本時 1/6時)			☆→課題(1)→BCT活用(2)→特別実施の観点
時間	学習内容及び学習活動	指導上の留意点及び評価	
見 通 す 10 分	<p>1. 本時の問題を知る。</p> <p>2. A, B, C, D, の4つの問題の 二つであるを比較しよう。</p> <p>3. 先週レポートも。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>△ 3の数が多いのが二つである。</li> <li>△ 4の数が多いのが二つである。</li> <li>△ 5と6は数が違う問題がある。</li> <li>△ 7と8は数が同じである。</li> </ul> <p>4. 5と6は見てわかる。</p> <p>5. 7と8は見てわかる。</p> <p>6. ここで何がどうにしなら いられるかを考える。</p>	<p>○ 「並んでいる」という言葉から生徒が想像させることで、並み具合についてのイメージをつけることができるようになる。</p> <p>○ 「並んでいる」学習と「並いている」学習を発見することで、並み具合には、「人魚」に「並む」の要素の関連していることに気が付く。(1)</p> <p>○ 人魚→やがて、並居る時に並んでいる複数の学習を発見することで、並んで いる方がまとまる先と次の複数が異なることに気が付く。(2)</p> <p>○ 並んで対しての先週レポートもを比較する際に、「△」が同じであれば「人魚」で表 されるに、「△」が同じであれば「並さ」で表されるという点を踏まえてお く。</p>	
照 べ る 20 分	<p>1. 並んで見る本。</p> <p>△ 3の数が多いのが二つである。</p> <p>△ 4の数が多いのが二つである。</p> <p>△ 5と6は数が違う問題がある。</p> <p>△ 7と8は数が同じである。</p>	<p>○ 各段の意味や数字の意味を考える時間を確保するのに、普段の教り様れない 計算をする場合には、ビーハーの範囲外を活用する。</p> <p>○ プレートを使ってにじカードを迷る。</p> <p>○ 挑戦することで先週の復習や考え方を振り返し、今 くり用いることで自分と相手の考え方の問題点 や改善点を気づき、意見を交換することができるようになる。</p>	
まとめる7分	<p>まとめ</p> <p>二つ並んでは「△ 人魚たり」 のよう△と△たりでは並べるこ とができる。</p>	<p>○ まとめを行う際に、最後に並んで並んでしながる問題を行なうことで、それそれ の考え方の違いを自分でやくする。</p> <p>△ 説明(並・並・並)</p> <p>△ 二つ並んで△の問題の△並の△並を△並の△並の△並を△並る△並みであります。</p>	
がり 漏 る 5分	<p>△ △の△名</p> <p>○ 5の△は△の△の△の△を△る。</p> <p>△ 5と△した△を△い△る。</p>	<p>○ 並んで見て、繰りよく説明することができるよう、キヤハ支・透用、△ワード シートを使う。</p> <p>○ 本時で何を覚んだのか、何が分かったか、何ができるようになったのか簡単に できるよう感想欄を使って振り返らせる。</p>	
6 反省計画			
			

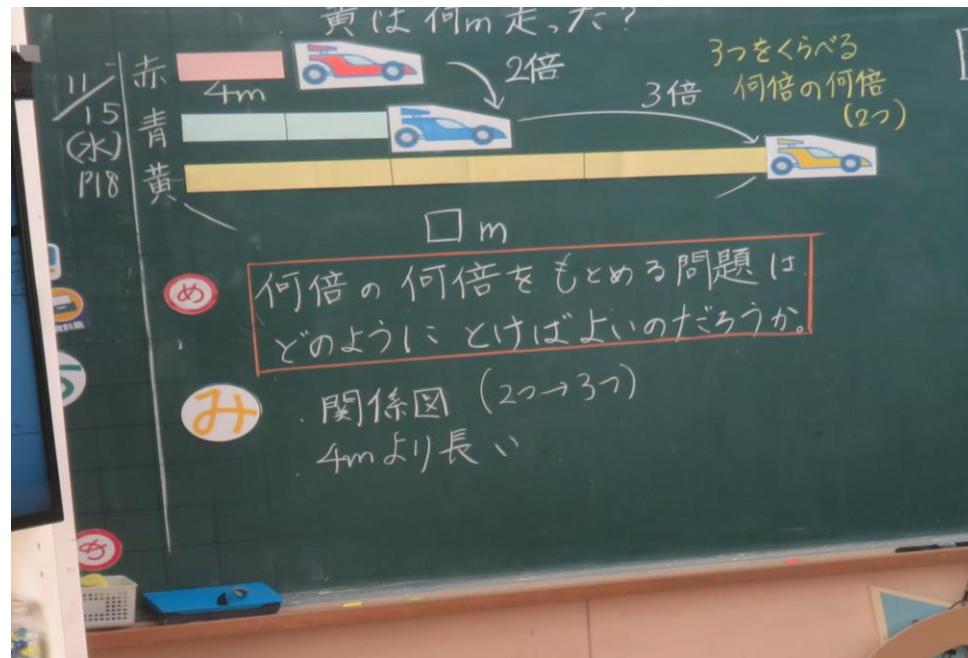
# 調べる段階において

## (1) 自らの考えをもつための手立て

自分の考えをもつとは…

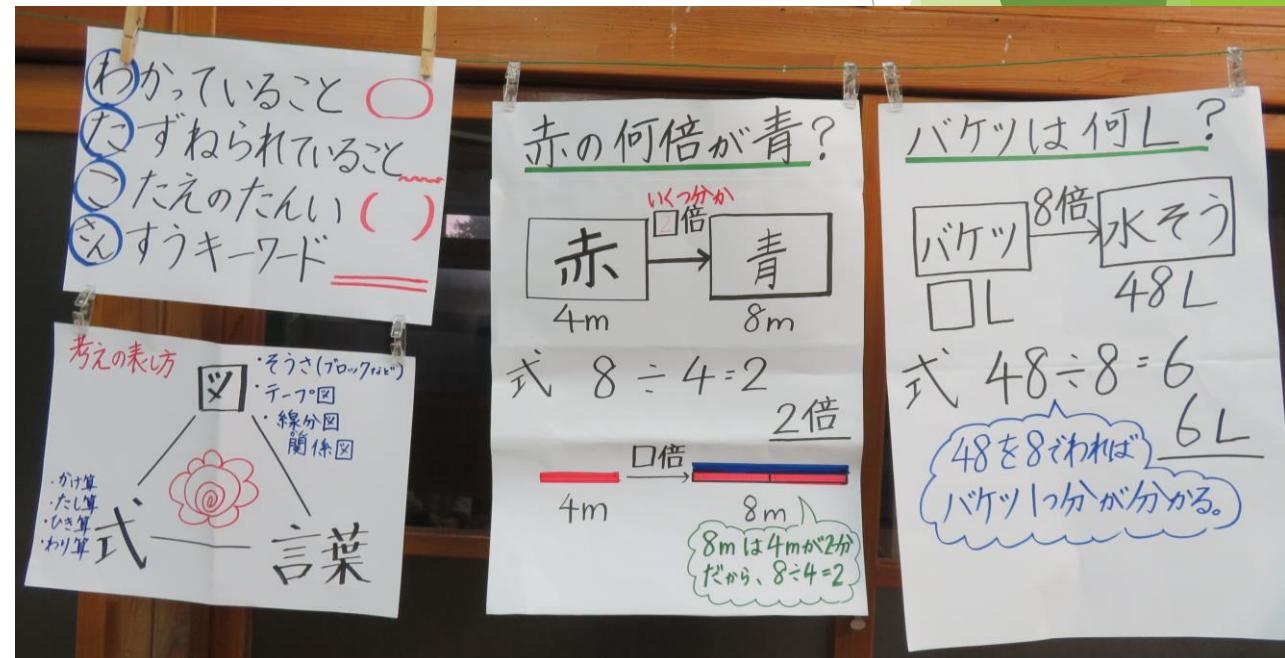
式や答えの意味や理由を、言葉や図、表、グラフ等を使って説明したり、表したりできること。(最終目標)

### 学習の見通しから考えをもつ



個別最適な学び

### 既習事項から考えをもつ



## 自分の考えを表す

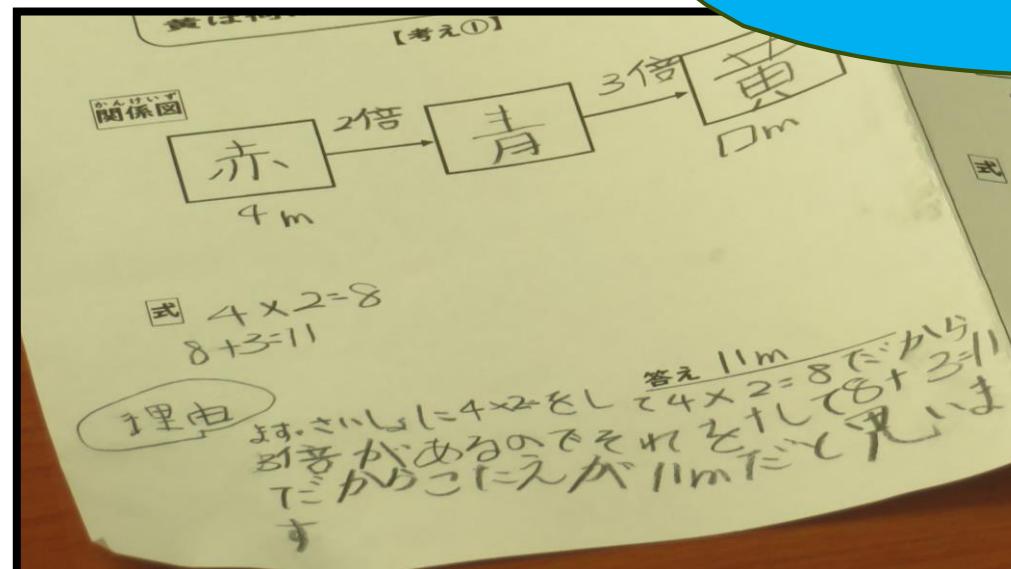
式は、（ ）です。

答えは、（ ）です。

どのように考えたかを説明します。  
まず始めに、（ ）しました。  
次に、（ ）しました。  
そして、（ ）しました。  
＊他にも、また、それから、最後に  
などの接続語を使う。

話型をもとに書く。

# 個別最適な学び



$$\begin{array}{r}
 27536 \rightarrow 28000 \\
 41071 \rightarrow 41000 \\
 28000 + 41000 = 69000 \\
 00 \quad \text{A} \underline{6\text{万}9000\text{人々}}
 \end{array}$$

自分の考え方や  
理由を簡潔に  
書く。

# 調べる段階において

## (2) 自力解決するための手立て

### ① ICT機器の活用

#### ヒントカード

分からない人は、ヒントカードを見ましょう。

ヒント1

ヒント2

ヒント3の順で見ます。

##### ヒント1

それぞれの数をがい数にしましょう。  
がい算…がい数の計算



7625円



4193円



3558円

#### ヒント動画

#### QRコード

個別最適な学び  
自らの学びを  
調整する

ヒントカードをロイロノートの資料箱に数種類準備し、自分のレベルに合わせて選べるようにしておく。

ヒント動画やQRコードは、自分の理解に合わせて繰り返し見れるようにしておく。

# 調べる段階において

## (2) 自力解決するための手立て

### ②特別支援教育からのアプローチ

#### 支援をする児童への手立て

分 数	3 めあてを設定する。 どんなけいさんをすると、こたえが4こになるのかな。	【実態】他の刺激に注意が移りやすい。 【目的】やるべきことに注目させる。 【手立て】机間指導時に個別に対応する。 【メモ】
4 13-9について考える。 ・個人思考 ・「9」の取り方 5 考えを共有する。 ・2~3人程度		
6 全体で話し合う。 ・はかせ な計算方法を比較	【実態】他の刺激に注意が移りやすい。 【目的】やるべきことに注目させる。 【手立て】敢えて前に出る(動く)機会を作る。 【メモ】	

個別最適な学び



# 協働的な学び

## 調べる・まとめる段階において 「対話」

### ①対話の目的

### ②対話の形態

### ③対話に使用した学習教材

5 授業課題(本時 1/6時) 実→課題 (I)→ICT活用 (II)→特別授業の要点

時間	学習内容及び学習活動	指導上の留意点及び評価
見通す10分	1. 本時の目標を知る。 A, B, C, Dの4つの問題の 二つぐわいを比べよう。 2. 先週レポート。 - 人の数が多いのがこんなでいる。 - 部屋が狭いのがこんなでいる。 - 会議室も違う問題がある。 3. 会議室について考える。 - 何でぐわいはこれどうにしち はーまれるがうん。	○「悩んでいる」という言葉から生徒が意識されることで、悩み具合についてのイメージをもつことで学ぶようにする。 ○「悩んでいる」と「重している」言葉を覚えることで、悩み具合には、「人 類」に「会議室」の要素が関係していることに気が付く。(I) ○ A●●●で表し、部屋の広い狭いばかりでなく複数の要素を関係することで、幅 広い方が変わると先週の結果が異なることに気が付く。(II) ○ 「会議室に対する先週レポートをするのに、「広さ」が同じであれば「人数」であ らわれるのに、「人数」が同じであれば「広さ」で比べられるということがおさえてお く。
調べる20分	3. 先週のデータ。 ○ わかの教科で考える。 ○ 子どもの人数で考える。	○ 先週の全体や数字の意味を考える時間を利用してするために、普段の教科時間に 計算する場合には、计算器の電卓機能を使用する。 ○ タブレットを使ってにシートを提出する。 ○ 会議室に対する先週の結果や考え方を整理して、 ○ 会議室を先づ、意見を述べることができるようになる。
まとめ7分	4. まとめ。 ○ 他の部屋の悩み具合を聞く。 ○ 次回のことを振り返る。	○ まとめを行う時に、満足に会議室の悩みを洗いながら説明を行うことで、それそれ の意見を述べる。 ○ まとめを行う時に、満足に会議室の悩みを洗いながら説明を行うことで、それそれ の意見を述べる。

6 板書計画



調べる・まとめる段階において  
「対話」

協働的な学び

## ①対話の目的

1	自分と他者の共通点・相違点を知る
2	自分の考えを広げる
3	自分の考えを深める
4	新たな考えをもつ
5	最適解・納得解を導きだす

調べる段階で得た  
自分の考えを伝える



個別最適な学び  
と協働的な学び  
の一体化

# 調べる・まとめる段階において

## 「対話」

### ②対話の形態



低学年の様子

ペアでの対話



中学年の様子

友達と同じ式だけど  
考え方方が違うな



高学年の様子

グループでの対話

協働的な学び

# 調べる・まとめる段階において 「対話」

協働的な学び

## ③対話に使用した学習教材（紙媒体）

ノートやワークシートを活用した対話



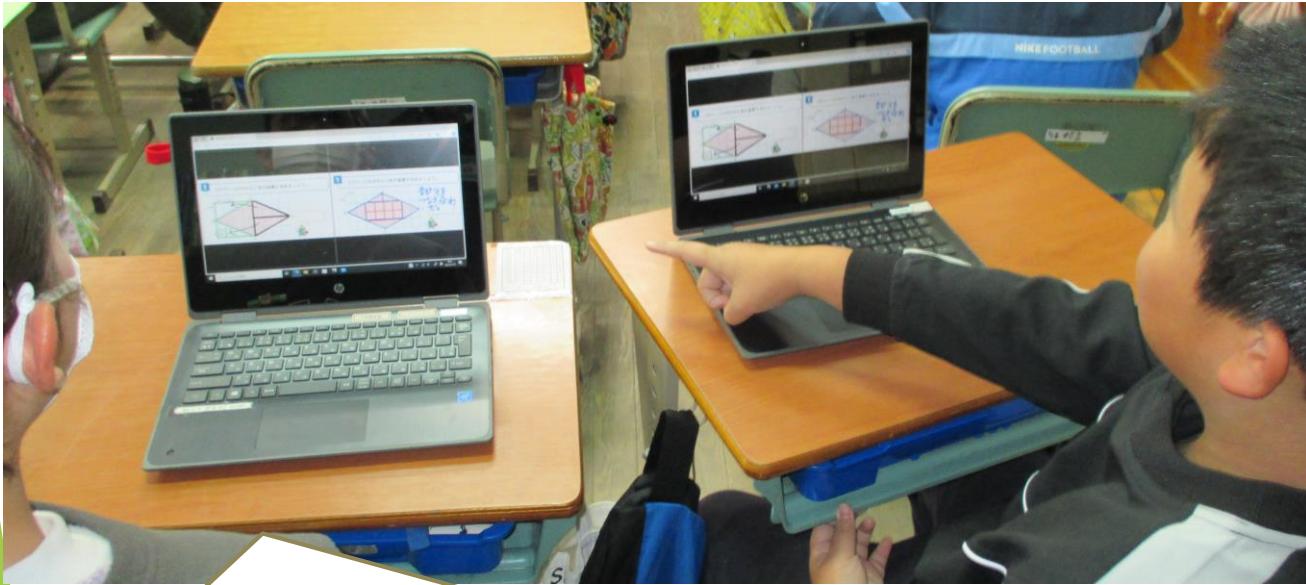
調べる・まとめる段階において  
「対話」

協働的な学び

ICT機器の活用

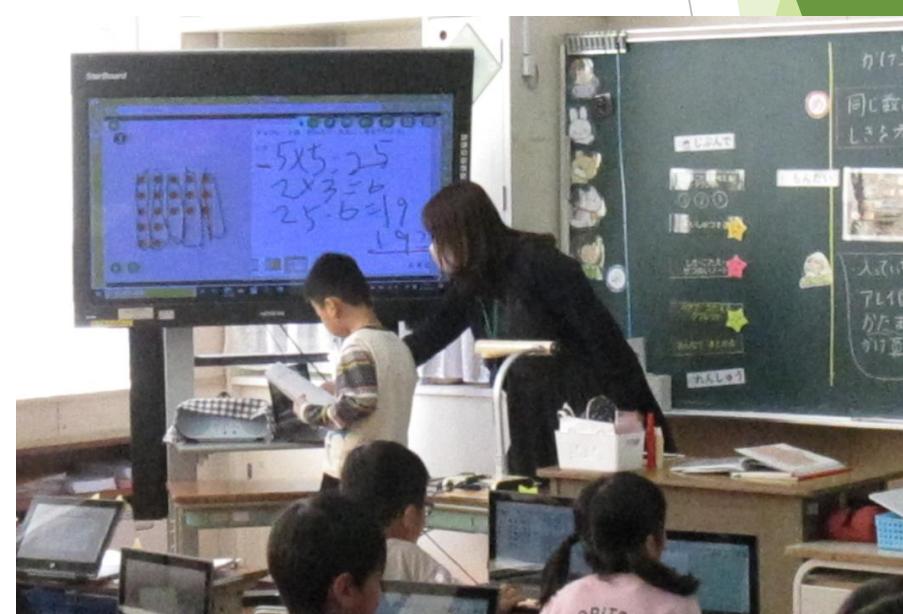
## ④対話に使用した学習教材 (ICT機器)

提出箱を活用したペア対話



ロイロノートに記入した考えをペアで共有する。

提出箱を活用した全体対話



ロイロノートに記入した考えを全体で共有する。

# 個別最適な学び2

## ふり返る段階において (1) 習熟の時間 (2) 自分の学びの振り返り

☆→課題 (1)→ICT活用 (2)→特別実験の要点

5 価値認識(本時 1/6時)		指導上の留意点及び評価	
見 通 す 10 分	学習内容及び学習活動	○「読みでいる」いう言葉から生徒を説き立てるに任せ、読み直しについてのイメージをもつてのできるようにする。	
	1. 本時の目標を知る。 A, B, C, Dの4つが問題の ことであいを比べよう。	○「読みでいる」字典を「書いている」字典を発見することで、読み直しには、「人 類」に「本」の要素の関係していることに気付かせる。(1)	
	2. 先週しゃべつ。 - 人の数が少ないのがこんでいる。 - 朝寝びきがいがこんでいる。 - おでこ入顎を違う表現がある。 3. 次回に向けて覚える。 あとで覚習問題	○ AとBで表し、部屋の中で壁ばかりしている複数の字典を発見することで、壁 ばかりが変わるところと読み直しが異なることに気が付かせる。(2)	
調べ る 20 分	これであいはどのようにして 比べられるか?	○ 読みの意味で数字の意味を考える時間を確保するために、答えが書け残れない 状態にする場合には、タブレットの墨跡機能を使用する。	
	4. 読みで覚える。 ○ おののの教諭で覚える。 ○ 子どもの入顎で覚える。	○ 向き解決が難しい児童にはタブレットを使ってにシートカードを見る。	
	5. パートで覚える。 ○ ユニバースト選択を行なう。 ○ ウィズトータルを行なう。 ○ 両方のタブレットで答えを決める。	○ ワイドノートの発達段階の個別化性をすることで次週の兎用や考え方を教し合 くする。(3)	
まとめ る 7 分	6. 実習する。	○ ユニバースト選択にワクスターを用いることで自分と相手の考え方の発達段 階を確認でき、意見を見えることができるようになる。	
	まとめ る 7 分	○ まとめでは「1. 先あたり」 のようなくわたりで比べること ができる。	○ まとめを行う際に、直接に選択の式を発見しながら説明を行うことで、それそれ の考え方の違いを自分でやくする。
	7. おわり	4. 価値認識(本時 1/6時)	○ おわりにみんぐの問題の二種類の問題を各自の担当のペースで わかるよう、キヤノン文庫選用、ワーク 、行がわかるようにならうのが特徴に

「ふり返る」段階

6 板書計画



# ふり返る段階において (I) 習熟の時間

協働的な学びで得た最適解を用いて、適用問題に取り組む。

(教科書の問題)

③ 次の計算の答えを、一万の位までのがい数で求めましょう。

①  $72965 + 46218$     ②  $263156 + 647980$   
③  $99632 - 31875$     ④  $924370 - 198364$



確実な知識・技能の定着を図る習熟問題

## 個別最適な学び

ひなたさんは、家族でヤマダ電機に行きました。  
お父さんは7625円のひげそりを、  
お母さんは4193円のドライヤーを、  
ひなたさんは3558円の電動えんぴつけずりを、  
それぞれレジに持ってきました。  
お父さんのスマホのPayPayには、15000円入っています。買えるかどうか見つもってみましょう。



実生活での活用をイメージした習熟問題

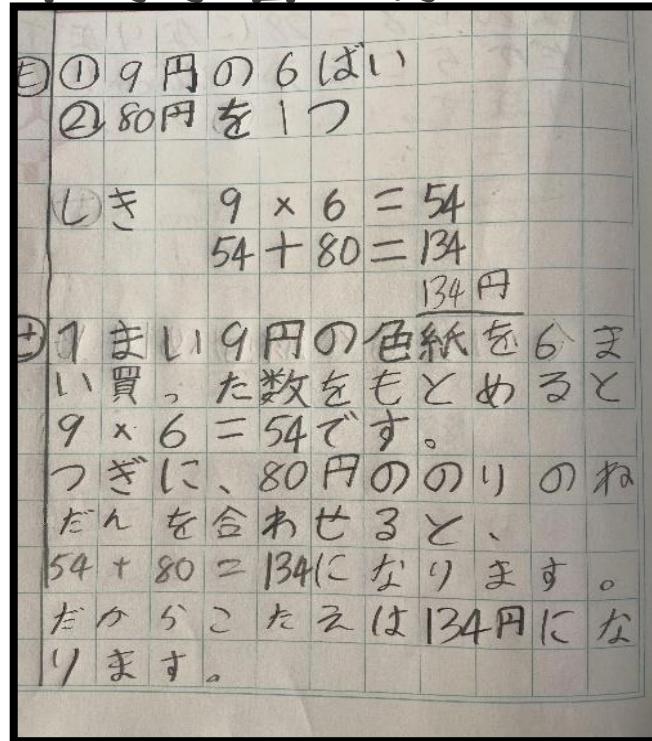
## 個別最適な学び と協働的な学び の一体化

## ふり返る段階において (2)自分の学びのふり返り

自分の言葉で表現する(アウトプット)

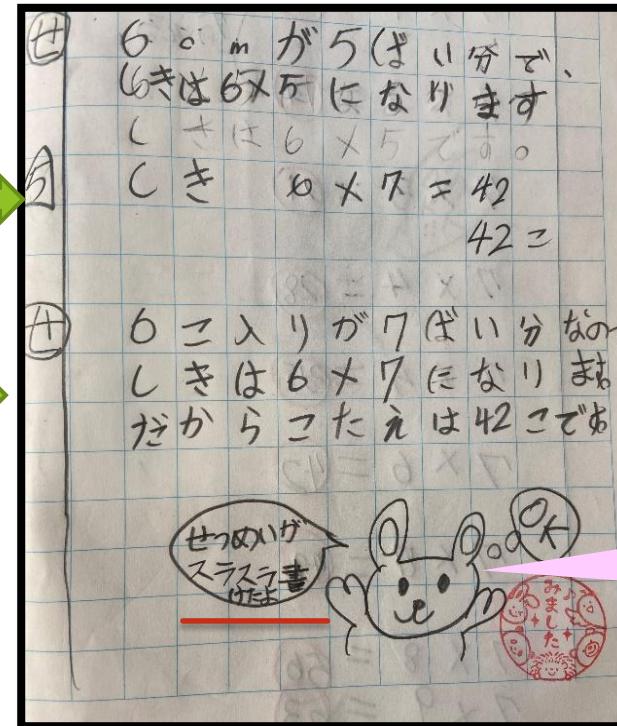
個別最適な学び

本時学習で分かったことを伝える。→表現力の向上



考えた  
解法

考えの  
説明



- ・学習の感想
- ・先生への  
メッセージ

# 推進チームの取組

- ① 授業改善推進チーム
- ② ICT活用推進チーム
- ③ 特別支援教育推進チーム

# 本校のICT活用に関する課題

## 教師側の課題

教材化への不安

不慣れな機器操作等

## 児童側の課題

不明瞭な情報活用スキル

情報モラルの不徹底等



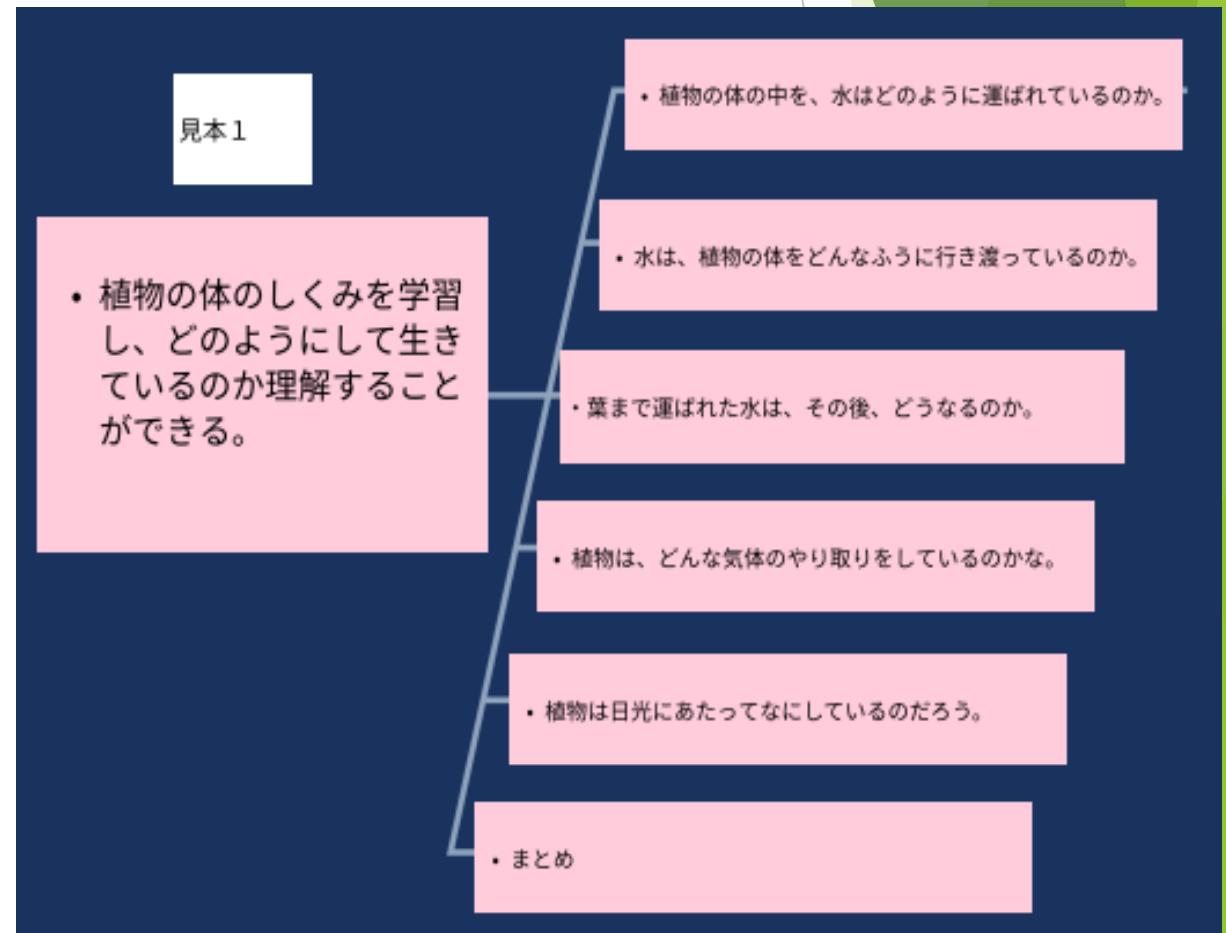
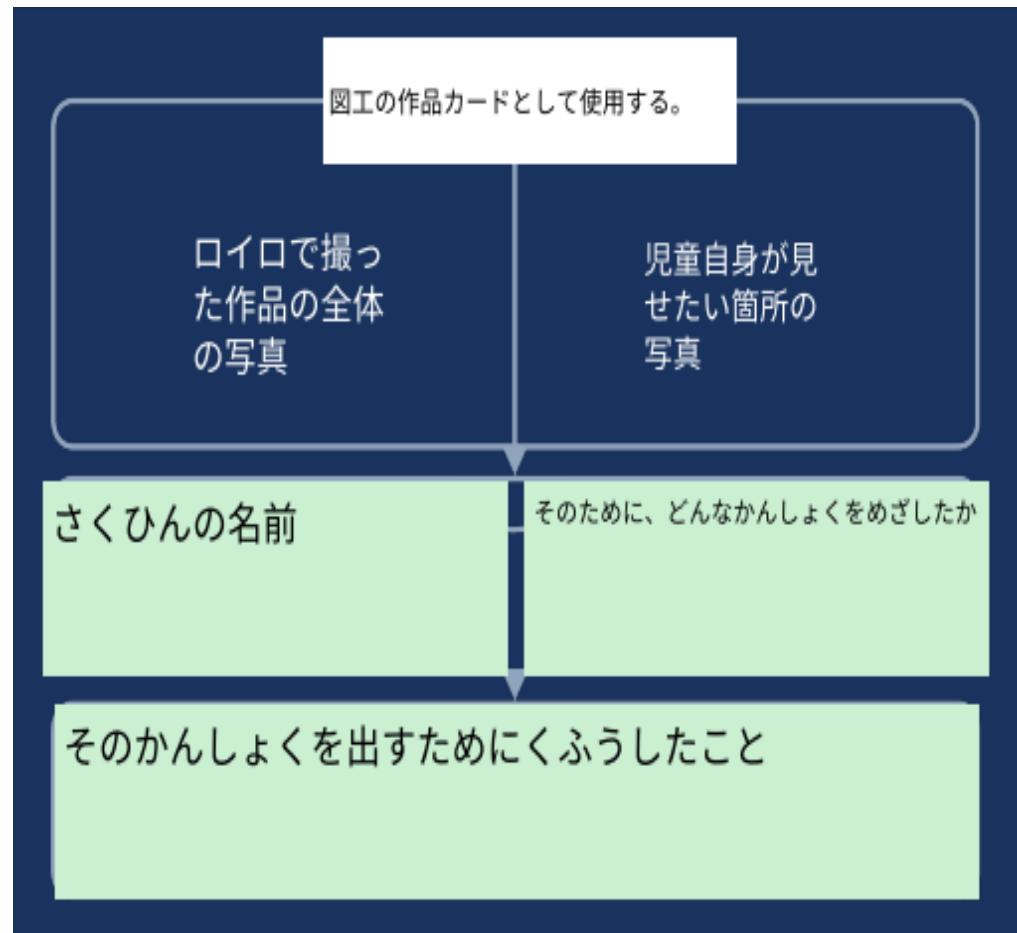
「スマイルアップICT」

# 「ICT教具の活用一覧表」

段階	活用できる教具一覧【例】			
	ロイロノート	その他のICT		
見通す	QRコード 画像 動画 アンケート テスト		デジタル教科書	
調べる	動画撮影・シンキングツール ワークシート（PDFで作成） アンケート 小テスト Webカード 共有ノート		動画(NHK for school等) インターネット デジタル教科書 Eライブラリ	
まとめる	発表シート・提出箱			
ふり返る	習熟問題シート（自作） テスト		Eライブラリ デジタル教科書 動画(NHK for school等)	

# ICT教具サンプルの作成

## 【シンキングツールのサンプル】



# ICT教具作成マニュアルの作成

## 【ワークシート作成の例】

### ワークシートの作成

ここでは、児童に配付する見栄えの良い「ワークシート」の作成手順について説明していきます。



#### ① 文書作成ソフト（Word, 一太郎）を使って「元になる文書」を作成する。

##### すばしく快適に過ごす着方と手入れ

7月 2 日

めあて 洗たくの仕方をまとめ、くつしたを洗たくしてみよう。

##### 【学習の進め方】

- 教科書 100~101 ページを読み、「洗たく」についてまとめる。
- 学習ノート 15 ページをタブレットをもとにまとめる。
- 「衣服のたたみ方」を見て、実際に「たたんで」みる。「くつした」の洗たくしてみる。

【活動①】「洗たく」についてまとめよう。

##### ① 洗たくについて知ろう

★ 洗たく・・・水や **洗剤** 、手や **電気洗濯機** の力などを用いて、  
**よごれ** を落とすこと。

##### 《洗たくの手順》



準備する

- **ポケット** の中などを点検する。
- 洗たく物を **布** 、**よごれ** 、**石鹼** などで分け洗い方を考える。
- どうなどの **よごれ** のひどいものは、水で **下洗い** しておく。

● 「元になる文書」作成の場合は、2通りの作成方法があります。

- ① あらかじめ「答えとなる文言」を入れておく。
- ② 「答えとなる文言」部分を空白にしておく。  
※ ① は児童がロイロのテキストをはがすと答えが出てしまうので、あまりお勧めできません。

● 児童に入力させたい部分を口図みしておくとロイロで編集するときに失敗しません。



「枠飾り」は文書作成ソフトにあらかじめ入っているもの他、「ラベルマイティ」等のソフトを活用すると見栄えの良いシートが作成できるので、お勧めです。



教科書等の画像を貼りたい場合は、**コピー機でスキャン**をすると PDF で保存されます。後述する「ロイロノートに貼る」ときにワークシートに貼り付けることも可能です。



# 作成データ教材の共有化

【ロイロノートを活用したデータの蓄積と管理】

- 外国语 >
- 図工 >
- 体育 >
- 音楽 >
- 社会 >
- 国語 >
- 算数 >
- 理科** >  水溶液第2時タブレット.pdf  
2023年6月28日 16:12
-  水溶液第1時タブレット.pdf  
2023年6月28日 16:12
-  水溶液の性質まとめ.pdf  
2023年6月28日 16:12
-  塩酸にとけた金属の行方.pdf  
2023年6月28日 16:12
- テスト②  
2023年6月28日 16:12
-  練習問題②.pdf  
2023年6月28日 16:12

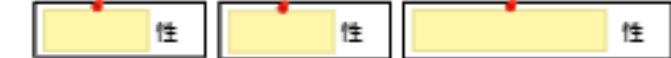
## 水溶液の仲間分け

☆ リトマス試験紙を使った結果を表にまとめましょう。

水よう液の名前	赤いリトマス試験紙	青いリトマス試験紙
(例) 水	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
食 塩 水	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
炭 酸 水	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
塩 酸	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
アンモニア水	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
重 そ う 水	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

## 【結果からわからること】

② 水よう液は、大きく分けると



の3種類に分けられる。

☆ 性の仲間・・

☆ 性の仲間・・

☆ 性の仲間・・



# 学年ごとの情報モラル一覧表の作成

学年	前期の指導内容	後期の指導内容
1年生	学習用タブレットの上手な使い方 ※スキル指導も含めて2回実施	学習用タブレットの上手な使い方 ※スキル指導も含めて2回実施
2年生	スマートフォンやタブレットなどの使いすぎ	スマートフォンやタブレットなどの利用マナー
3年生	ネットゲームに夢中になると…	ひとりよがりの使い方にならないように
4年生	パスワードについて考えよう	うまく伝わったかな？
5年生	軽い気持ちのID交換から…	SNSの書き込みへの影響
6年生	写真や動画が流失する怖さを知ろう	思ったままSNSに送信しただけなのに

# 情報タイムの実施

**指導内容** 『GIGAワークブックみやざき』を活用

学年の発達段階に応じた内容を抽出して実施

**時 間** 昼の活動(13:15~13:30)において、2学期以降計8回(15分間×8回=120分間)

実施時期		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
2学期	月 日	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
	9月27日	たんまつを使う時の言葉を知ろう(スキル)	「学習の目つき」といえるのかな(モラル)	パスワードのつくり方や使い方(セキュリティー)	パスワードのつくり方(セキュリティー)	端末を使うとできることは(スキル)	「学習の目的」といえるのかな(モラル)
	10月19日	大切に使うとは(モラル)	上手な写真のとりかたを学ぼう(スキル)	家庭でのルールをつくろう(スキル)	どのように写真を撮ればよいのかな(スキル)	使いすぎていなかな(モラル)	変なコメントが書き込まれたら(セキュリティー)
	11月8日	たんまつが動かなくなったりしたときは(セキュリティー)	勝手に書きこまれたら(セキュリティー)	見てもよいサイトかな(モラル)	上手な検索方法を学ぼう(スキル)	災害が起きたときの情報収集(セキュリティー)	端末を使う時は(モラル)

# 発達段階に応じた「タブレット基本操作一覧表」

No.	操作項目	内容(1年生)	内容(2年生)
	タブレットの基本操作	<input type="checkbox"/> キャビネットへの片付け方 <input type="checkbox"/> 電源ケーブルの差し込み方 <input type="checkbox"/> 電源の入れ方・消し方 <input type="checkbox"/> 音量の上げ方・下げ方・消し方 <input type="checkbox"/> 右上の図をクリックしてウィンドウを閉じる	<input type="checkbox"/> caps Lockのオン・オフの仕方 <input type="checkbox"/> スリープ機能の使い方 <input type="checkbox"/> 再読み込みの仕方 <input type="checkbox"/> ミュートのオン・オフの仕方 <input type="checkbox"/> 画面の明るさの調整の仕方
	カメラ操作(本体)	<input type="checkbox"/> 写真・動画を撮る <input type="checkbox"/> 撮った写真・動画を見る(本体のフォルダ)	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 撮った写真・動画を削除する(本体のフォルダ)
	キーボード入力	<input type="checkbox"/> タブレットにログインするためのキーボード入力 <input type="checkbox"/> アプリにログインするためのキーボード入力	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

# 推進チームの取組

- ① 授業改善推進チーム
- ② ICT活用推進チーム
- ③ 特別支援教育推進チーム

# 課題解決の考え方の整理

UD

→

聞く力

聞く力

→

表現力

継続取組

→

学力向上



UD・・・ユニバーサルデザイン

# 特別支援の視点からの7つのチェックリスト

観 点	チェックリスト
学級環境	教室内の物の置き場所が1つ1つ決まっているか。
	教材の場所や置き方が、一目でわかるようになっているか。
	教室前面の壁の掲示物は、必要最低限の物に絞られているか。
	教室前面の棚が余計な刺激になっていないか、目隠しなどしているか。
	座席の位置は、個々の特徴に合わせたものになっているか。
指導方法	指示・伝達事項は、可視化(板書等)しているか。
	抽象的で曖昧な表現は、具体的な表現に置き換えているか。

## ※参考資料

「分かる！」「できる！」学校全体で取り組む授業の土台づくりハンドブック（宮崎県教育委員会）

## ※参考文献

通常学級での特別支援教育のスタンダード（東京書籍：東京都日野市教育委員会with小貫 悟）



休み時間



授業中



教室前方



教室後方

# 児童が聞いて考え、活動できる指導方法

観点	具体的な指導方法		
指示前	<ul style="list-style-type: none"><li>● 手を鳴らす</li><li>● 「話します」、「注目」→ そろうまで待つ</li></ul>		
可視化	<ul style="list-style-type: none"><li>● 手順を番号で</li><li>● 指示を文字で残す</li><li>● 矢印で、『今ここカード』で</li><li>● イラストで、写真で</li><li>など</li></ul>		
具体的な表現	<ul style="list-style-type: none"><li>● ちゃんと → 「姿勢は『ペタ・ピン・グー』の『ペタ』です」</li><li>● しづかに → 「口は口ック」</li><li>● ていねいに → 「一文字を5秒で書きます」</li><li>など</li></ul>		
指示の精選	<ul style="list-style-type: none"><li>● 短いフレーズ、短文で一文ずつ</li><li>● 活動が終わってから次の指示を出す</li></ul>		
児童の発言の精選	<ul style="list-style-type: none"><li>● 指示の後に「質問はありませんか」</li><li>● 「どうぞ」で活動を始める</li><li>● 「(姿勢で)合図をください」で終わりを確認</li></ul>		

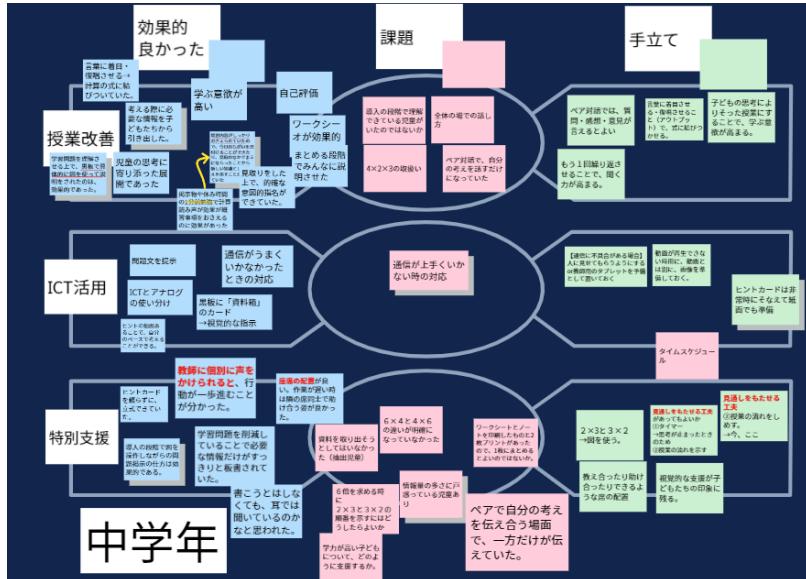
# 「働き方改革に係る取組」（研究とは別枠1）

## ICT研修と協議会の一体化

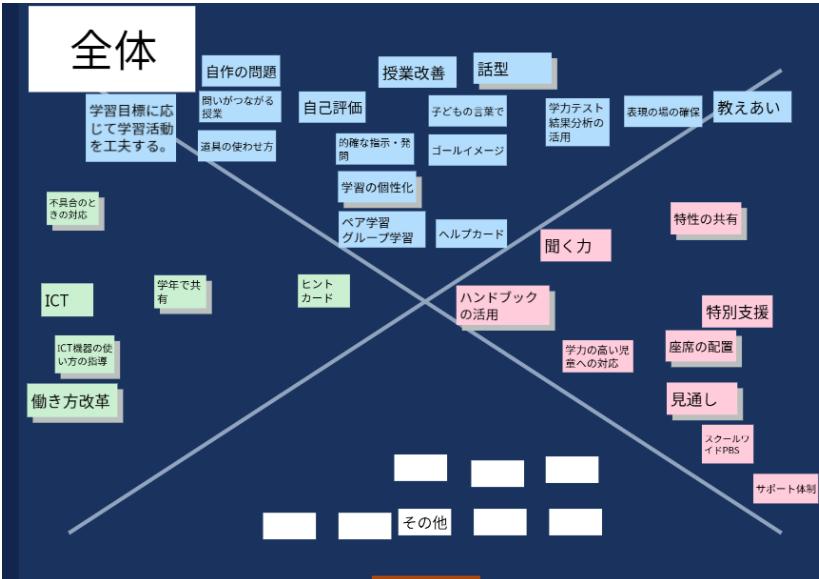


# ロイロノートのシンキングツールの活用(例)

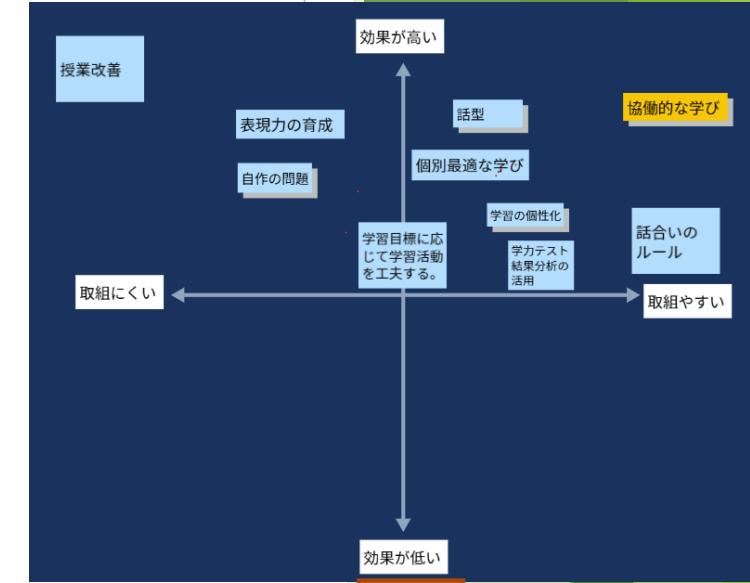
## リボンチャート



## Xチャート



## 座標軸チャート



成果(効果的・良かつた点)と課題、その課題解決の手立てを出し合い分類してまとめる。

各チームごとの取組を分類してまとめる。

各取組を効果と取組やすさの観点で考え、整理し、まとめる。

# 「働き方改革に係る取組」(研究とは別枠2)

- ① フレックスタイムの導入(夏季休業中)
- ② 扱休み(45分)の分割
- ③ 長期休業への研修の位置づけ

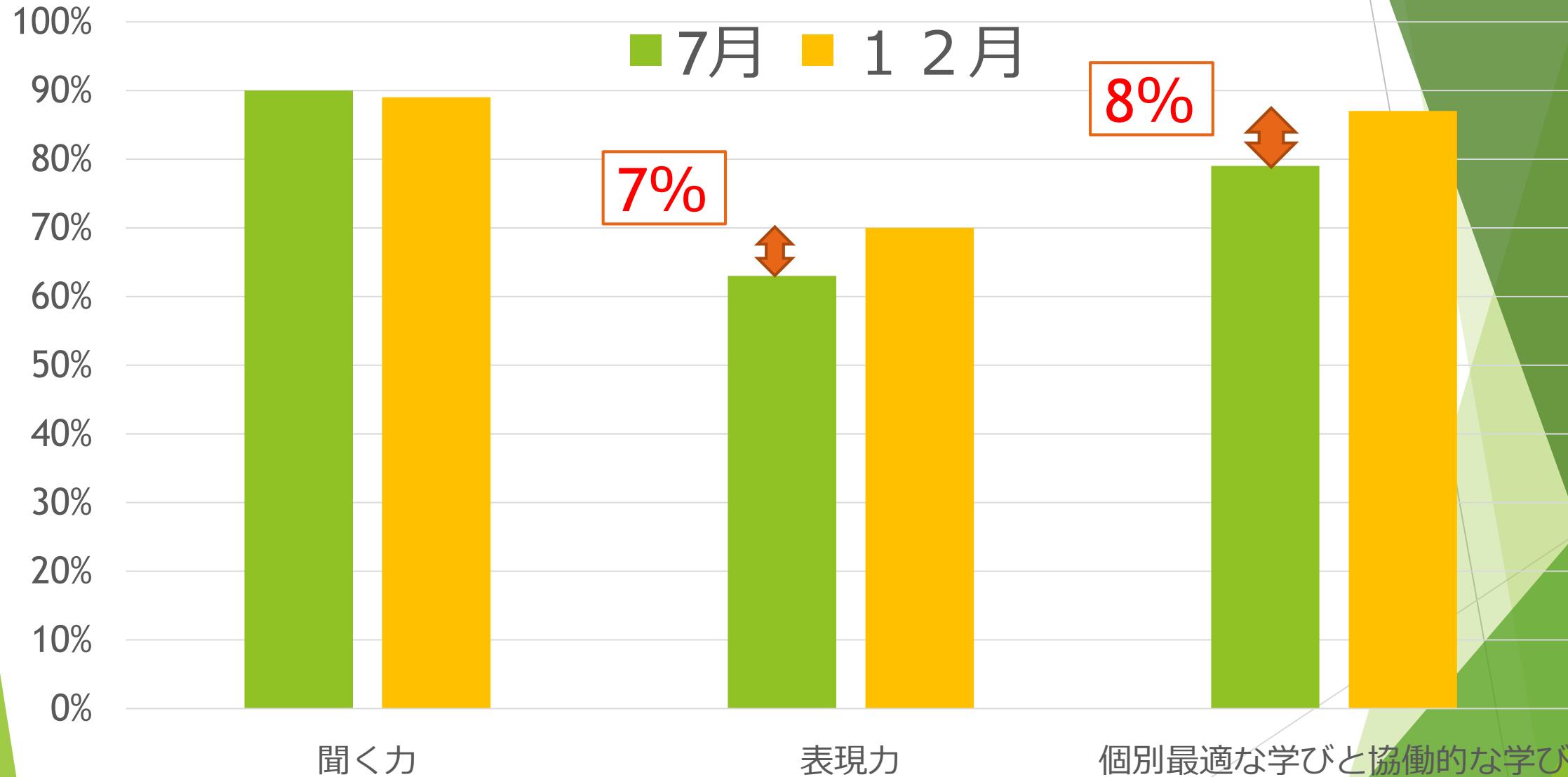
# 児童（低学年）の授業の実態調査の主な項目（一部抜粋）

【3】 算数の授業中、先生や友達の話を聞いていますか。

【4】 算数の授業中、自分の考えを言った後、理由を説明することができますか。

【6】 算数の授業中、先生や友達に自分の考えを言ったり、先生や友達の話を聞いたりすることができますか。

# 児童の変容(聞く力・表現力・個別最適な学び協働的な学び)



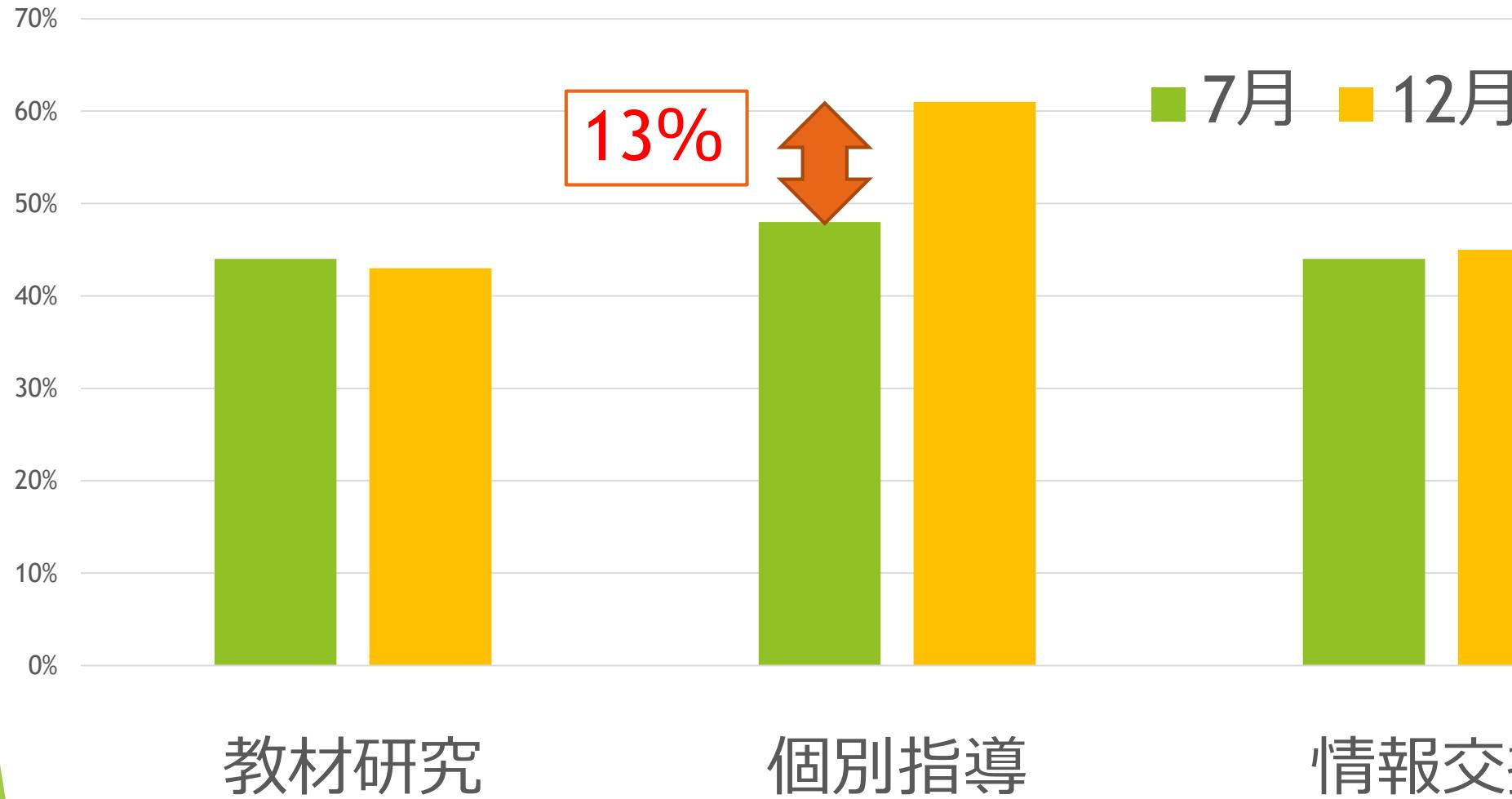
# 教師向け働き方改革実態調査の主な項目（一部抜粋）

【3】 勤務時間内に、教材研究や学級事務などの業務に要する時間をとれていますか。

【4】 勤務時間内に、児童に対して個別に指導を行ったり、相談等を行ったりする時間がとれていますか。

【5】 勤務時間内に、他の教職員と教科指導、生徒指導などに関する情報交換（会話などを含む）をする時間がとれていますか。

# 教職員の変容(勤務時間に關すること)



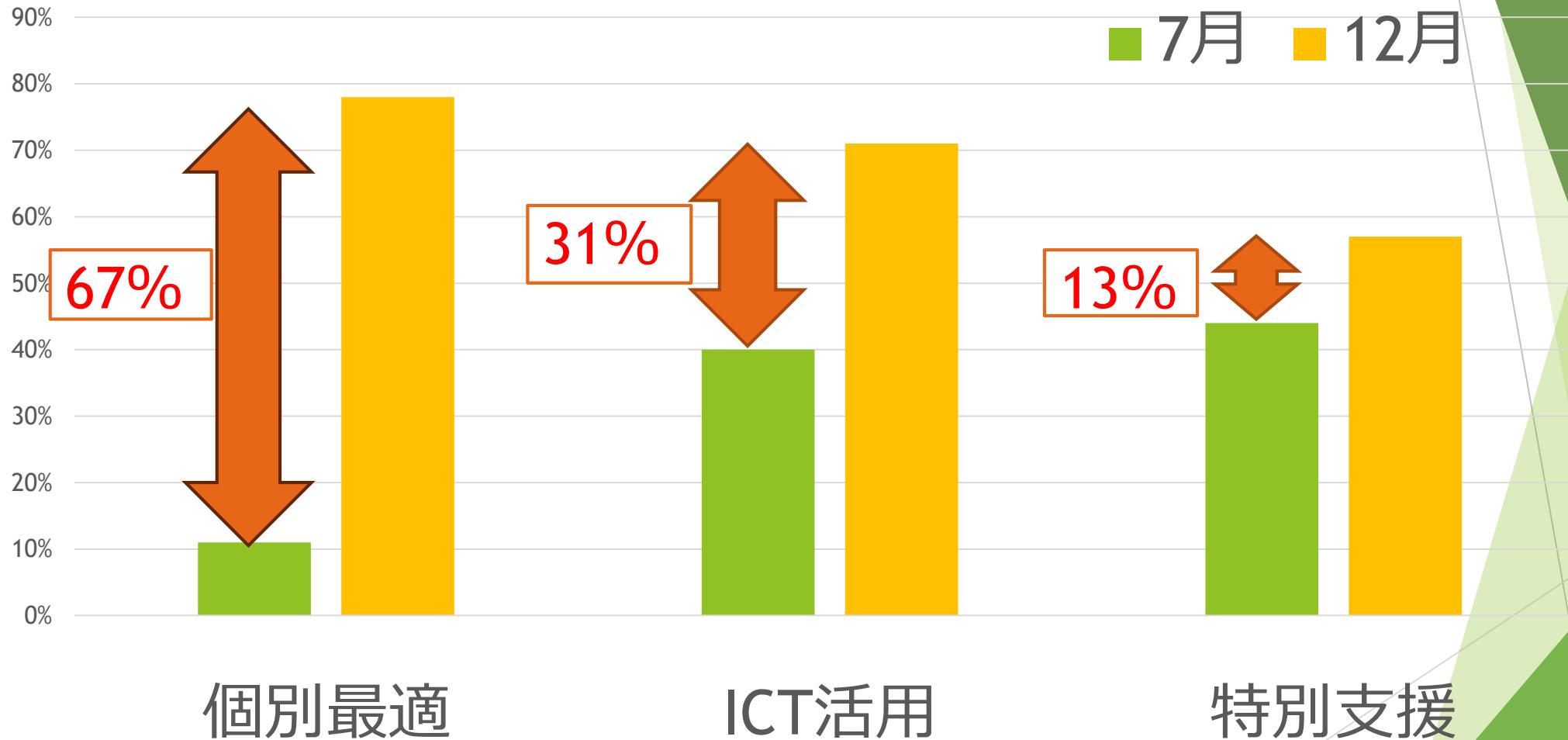
# 授業改善に関する実態調査の主な項目（一部抜粋）

【13】 個別最適で協働的な学びになるように単元計画を立て、  
計画的に授業を実施することができていますか。

【17】 ICT機器を活用して、個別最適で協働的な学びの授業  
を展開することができていますか。

【18】 特別支援の視点から児童一人一人に個に応じた手立て  
を考えて授業を進めることができますか。

# 教職員の変容(授業改善に関する取組に関して)



# 研究の成果

- 少しずつ「表現力」が高まり、「自分の考えをもち、仲間との対話を通して課題を解決する」児童の姿が見られるようになつた。
- 児童と教師のICT活用スキルが向上した。
- ユニバーサルデザインの視点で学校全体の教室環境を整えることができた。
- ICTの積極的な活用と教材の共有により作業効率が向上し、業務の負担軽減につながつた。

# 研究の課題

- 話合いの中で考えを深め、最適解・納得解を導き出せる力を児童に身に付けさせる。
- 「個別最適な学びと協働的な学び」における、より効果的なICT活用を実践していく。
- ユニバーサルデザインを意識した指導方法を実践していく。



ご清聴ありがとうございました。